

旧正月中の家畜防疫対策の再徹底について

旧正月（2月17日）の時期を迎え、人や物の動きが一層活発になることが見込まれ、口蹄疫やアフリカ豚熱等の国内への侵入リスクが非常に高まります。

我が国と地理的に近く人的交流も多い韓国での発生状況も踏まえ、今一度、農場への病原体侵入防止対策を徹底してください。

◆口蹄疫◆

仁川広域市江華郡の牛飼養農場（246頭）で、本年1月31日に韓国内で9か月ぶりとなる発生が確認されています。

◆アフリカ豚熱◆

2019年9月以降、継続的に発生が確認されています。また本年1月26日にこれまで感染が確認されていなかった全羅南道での発生が確認されています。

～家畜飼養者のみなさま、以下について徹底願います～

▷海外渡航の自粛

- ・アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航自粛

▷農場外国人従業員への病原体持ち込み防止指導の徹底

- ・肉製品や農場で使用する作業服、器具等が海外からの携行品、国際郵便物等によって持ち込まないように指導すること

▷衛生管理区域及び畜舎内への病原体侵入防止の徹底

- ・必要のない人を立ち入らせず、不要な物を持ち込まないように、看板等の掲示
- ・野生動物の誘引防止及び侵入対策の徹底
- ・衛生管理区域や畜舎へ立ち入る場合は、専用の手袋や靴の着用、手指・物品の消毒等を実施

▷毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

- ・家畜の異状（特定症状）を認めたら、速やかに当所へ連絡



京都府中丹家畜保健衛生所 **※早期発見・早期通報をお願いします！**

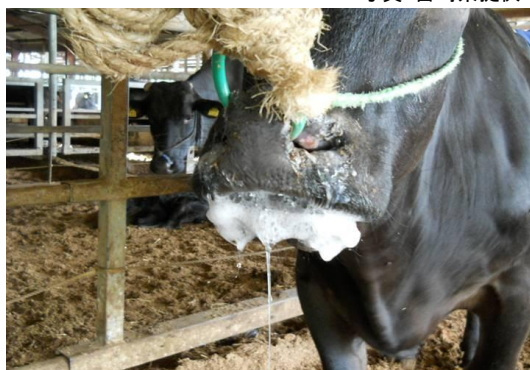
TEL 0773-25-1860（休日・夜間は転送されます） FAX 0773-25-1861

口蹄疫を疑う症状があれば直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

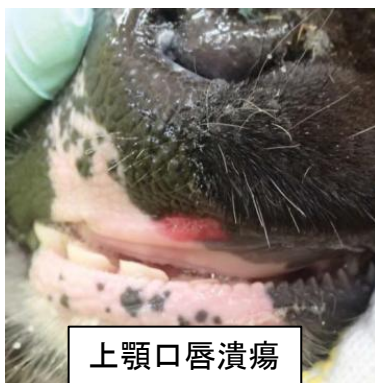
～牛の症状～

写真：宮崎県提供



＜A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞

写真：動物衛生研究部門提供



牛では、**1頭のみに着目せず**、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

～豚の症状～

写真：宮崎県提供



＜口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞

写真：動物衛生研究部門提供



多数の水疱病変を確認



毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師や家畜保健衛生所に連絡**してください。

京都府中丹家畜保健衛生所 **※早期発見・早期通報をお願いします！**

TEL 0773-25-1860（休日・夜間は転送されます） FAX 0773-25-1861